

静岡県月例経済報告

(令和3年8月号)

……令和3年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 544

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	8
・需要面	8
・生産面	16
・雇用面	18
・その他	21
III 静岡県主要産業の動向	25
IV データからみた県内主要産業	28

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和3年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和3年6月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

先行きについては、ワクチン接種が進むなかで、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響に十分注意する必要があるほか、生産活動における部品供給停滞等の影響拡大にも留意する必要がある。

雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直しているが、弱めの動きとなっている。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直しているが、弱めの動きとなっている」

大型小売店販売額（6月）は、百貨店が前年実績を上回ったものの、スーパーが前年実績を下回ったため、総額では3か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額（6月）は、コンビニエンスストア、ドラッグストアが前年実績を上回ったものの、家電大型専門店、ホームセンターが前年実績を下回ったため、総額では4か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車（新車）新規登録台数（6月）は、乗用車、軽自動車が前年実績を上回ったため、総数でも9か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数（6月）は、分譲住宅が前年実績を下回ったものの、持家、貸家が前年実績を上回ったため、5か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額（6月）は、3か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観（6月調査）の令和3年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（6月）は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、増加している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（6月）は、自動車が5か月ぶり、科学光学機器が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が5か月連続、エアコン、自動車の部分品、二輪自動車類がいずれも4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（6月）は、魚介類及び同調製品が6か月ぶり、紙類及び同製品が7か月連続で前年実績を下回ったものの、木材が4か月連続、パルプが3か月連続、原動機が5か月連続、自動車の部分品が6か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,174億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数（6月）は、業種別にみると、輸送機械が4か月ぶり、食料品・たばこが3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が3か月連続、電気機械が10か月連続、化学が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも4か月連続で前年水準を上回った。また、前月比は2か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（6月）は、総合では11か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる」

有効求人倍率（6月）は1.14倍で、前月を0.06ポイント上回り、22か月ぶりに全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（6月）は、22か月ぶりに前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（5月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（6月）は、前年同月比 0.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（6月）は、前年同月比 8.4%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（7月）は、件数は13件（前年同月比 18.7%減）、負債総額は12億6,300万円（同 27.0%減）と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス>

企業の皆様、働く皆様へ

新型コロナウイルス感染症関連支援策

中小企業等応援金事業

緊急事態措置に伴う飲食店への休業・時短要請又は外出自粛等の影響により、売上が減少した県内中小企業等の事業継続を幅広く支援するため、**国の月次支援金に県独自の要件緩和や酒類事業者への上乗せ**を行います。

項目	一般枠 (国の月次支援金の要件緩和)	酒類事業者枠 (国の月次支援金の上乗せ等)
対象	次の(1)又は(2)に該当する中小法人・個人事業者(要件を満たせば、業種・地域は問わない) (1)飲食店への休業・時短要請の影響を受けているもの (2)外出自粛等の影響を受けているもの	酒類の提供停止要請に応じた飲食店との取引により影響を受けている酒類製造・販売事業者
要件	2021年8月の売上が、2019年又は2020年8月と比較して <u>30%以上50%未満</u> 減少していること	2021年8月の売上が、2019年又は2020年8月と比較して <u>30%以上減少</u> していること 又は2か月連続して <u>15%以上減少</u> していること
給付額	対象月の売上減少額 法人：上限10万円 個人：上限5万円	対象月の売上減少額 (50%以上減少は国への上乗せ額) ・30%～50%未満 法人：上限20万円 個人：上限10万円 ・50%～70%未満 法人：上限20万円 個人：上限10万円 ・70%～90%未満 法人：上限40万円 個人：上限20万円 ・90%以上 法人：上限60万円 個人：上限30万円
申請期間	令和3年9月以降(3か月間予定)	令和3年9月以降(3か月間予定)
申請先等	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 具体的な申請手続等は、県ホームページで順次お知らせします。 https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-550/chushokigyotoouenkin.html </div>	

お問い合わせ先

応援金問合せ窓口(平日:午前9時～午後5時)
(054-221-2700)

新型コロナウイルス感染症関連支援策は、経済産業部ホームページに掲載中です。

検索

静岡県新型コロナウイルス感染症関連支援策パンフレット

または



企業の皆様、働く皆様へ
(経済産業省)

参 考

中小法人・個人事業者のための月次支援金

緊急事態宣言に伴う飲食店の休業・時短営業や不要不急の外出自粛等の影響を受け、売上が50%以上減少した中小法人・個人事業者を支援します。

※支援金の詳細や最新情報は、月次支援金事務局ホームページをご確認ください。

項 目	内 容
給付対象	<p>以下の①と②をみたす事業者は、業種や地域を問わず給付対象となり得ます。</p> <p>①緊急事態宣言措置又はまん延防止等重点措置に伴う飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響を受けていること※</p> <p>※2021年4月以降に実施される対象措置に伴う要請を受けて、休業又は時短営業を実施している飲食店と直接・間接の取引があること、または、これらの地域における不要不急の外出・移動の自粛による直接的な影響を受けていること</p> <p>②緊急事態宣言措置又はまん延防止等重点措置が実施された月のうち、措置の影響を受けて月間売上が2019年または2020年の同じ月と比べて<u>50%以上減少</u></p>
給付額	<p>中小法人等 上限20万円/月 個人事業者等 上限10万円/月 (2019年または2020年の基準月の売上 - 2021年の対象月の売上)</p>
申請期間	<p>6月分 : 令和3年7月1日～8月31日 7月分 : 令和3年8月1日～9月30日 8月分 : 令和3年9月1日～10月31日 9月分 : 令和3年10月1日～11月30日</p>

お問い合わせ先

月次支援金事務局HPを御参照ください
<https://ichijishienkin.go.jp/>

企業の皆様、働く皆様へ

まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言措置に係る 要請と協力金制度の概要

まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言措置の要請に応じていただいた事業者には、協力金を支給します。

1 要請の概要

措置	まん延防止等重点措置 ※8月19日(木)まで	緊急事態措置 ※8月20日(金)から
要請期間	①令和3年8月8日(日)0時～8月19日(木)24時まで ※準備期間8月8日～8月11日 ②令和3年8月15日(日)0時～8月19日(木)24時まで ※準備期間8月15日～8月17日 ③令和3年8月18日(水)0時～8月19日(木)24時まで ※準備期間8月18日～8月19日	令和3年8月20日(金)0時～9月12日(日)24時まで
措置区域 (要請の対象区域)	①令和3年8月8日(日)～ 静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町 ②令和3年8月15日(日)～ 磐田市、焼津市、藤枝市 ③令和3年8月18日(水)～ 島田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、森町	静岡県全域
要請内容	営業時間短縮要請 ほか	営業時間短縮要請 又は休業要請 ほか
対象施設(1)	(1)飲食店等 食品衛生法の飲食店営業許可を受けた飲食店等(飲食店営業許可を受けている結婚式場を含む。ただし、デリバリー、テイクアウト、ホテル・旅館等の宿泊者に限定して食事を提供する食堂等は除く。)	同左
対象施設(2)	(2)大規模集客施設等 (建築物の延床面積の合計が1,000㎡超) ※生活に欠くことができない物品の販売、生活必需サービスの提供は除く。	同左

※まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言措置の要請の詳細は、県ホームページをご確認ください。
 (1)まん延防止等重点措置 <https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/covid-19-manboh.html>
 (2)緊急事態宣言措置 <https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/covid-19-kinkyuu.html>

2 協力金制度の概要

措置	まん延防止等重点措置	緊急事態措置
協力金 対象 事業者	対象区域内で要請に応じ、かつ下記に該当する事業者 <ul style="list-style-type: none"> 対象区域に施設を有する企業及び個人事業主 静岡県暴力団排除条例第2条に規定する暴力団関係者でないこと 	同左
支給 条件	<ul style="list-style-type: none"> 〇ふじのくに安全安心認証を申請するなど、感染防止対策の業種別ガイドラインを遵守していること 〇準備期間を除く、全ての期間において要請に応じていること 	同左
協力金の 支給額	(1)飲食店等 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業：3万円～10万円 (1日当たり売上高の4割) ×協力日数(店舗当たり) ※中小企業の最低支給額は、一日あたり3万円です。 ・大企業： (1日当たり売上減少額の4割) ×協力日数(店舗当たり) ※1日当たり上限額は20万円 (2)大規模集客施設等 <ul style="list-style-type: none"> ・1,000㎡あたり20万円/日× 短縮時間/本来の営業時間 等 	(1)飲食店等 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業：4万円～10万円 (1日当たり売上高の4割) ×協力日数(店舗当たり) ※中小企業の最低支給額は、一日あたり4万円です。 ・大企業： (1日当たり売上減少額の4割) ×協力日数(店舗当たり) ※1日当たり上限額は20万円 (2)大規模集客施設等 <ul style="list-style-type: none"> ・同左

※受付開始日等詳細については、県ホームページ等で順次お知らせします。
<https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/covid-19.html>

お問い合わせ先

静岡県休業・営業時間短縮要請コールセンター
 (午前9時～午後5時(土日祝日含む))
(050-5211-6111)

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の利用状況

(R3年8月27日時点)

区分	申込状況			
	金額	件数	業種別の状況	
新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12~4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、 宿泊・旅行業3.5%等	
国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1~R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、 宿泊・旅行業1.3%等	
新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28~】	R 2	億円 447	件 1,268	製造業22.4%、卸小売業19.8%、建設業19.0%、飲食業5.4%、 宿泊・旅行業3.0%等
	R 3	億円 62	件 823	建設業36.5%、卸小売業16.6%、飲食業13.1%、製造業10.3%、 宿泊・旅行業1.2%等
新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別枠(新)【R3.4.1~】	億円 53	件 290	製造業25.2%、建設業23.4%、卸小売業17.6%、飲食業 10.7%、宿泊・旅行業2.8%等	
再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)(新)【R3.4.1~】	億円 3	件 8	製造業62.5%、運輸業37.5%、建設業0.0%、卸小売業0.0%、 飲食業0.0%、宿泊・旅行業0.0%等	
計	億円 10,963	件 64,213	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9~H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4~H24.3：1年間)	

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート)前年同月比の推移

(%)

区分	R2年 8月	9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
農・林・ 漁・鉱業	8.1	21.7	15.2	19.0	▲26.8	▲5.1	▲18.9	10.1	41.2	▲17.0	▲10.3	47.3
建設業	▲7.2	▲3.0	6.8	▲1.1	6.9	17.6	15.9	12.5	16.1	2.0	4.8	7.1
製造業	▲45.2	▲30.5	▲31.3	▲19.8	▲21.7	▲10.2	1.2	13.8	20.8	51.6	51.5	55.8
卸売・小売業	▲36.3	▲28.3	▲28.7	▲29.2	▲18.7	▲6.1	▲17.9	▲7.7	▲3.6	▲3.9	18.2	17.4
金融、保険 不動産業	▲32.7	▲9.8	▲6.1	▲31.4	▲8.0	▲35.6	▲25.1	12.7	▲15.0	7.3	11.1	▲20.5
運輸業	▲17.9	▲31.7	▲26.4	▲14.7	▲31.6	▲18.7	▲15.7	▲3.3	▲13.8	▲3.2	▲0.5	13.4
情報通信業	▲34.8	▲4.4	▲22.4	▲31.8	10.3	▲2.5	5.7	64.5	▲11.5	16.5	16.6	9.0
飲食、宿泊 サービス業他	▲46.2	▲24.1	▲34.7	▲23.0	▲26.3	▲10.0	▲6.9	1.3	27.0	31.8	8.8	48.8
県全体	▲31.7	▲20.4	▲20.8	▲21.8	▲19.1	▲3.0	▲7.8	1.7	11.4	14.3	15.2	23.5

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R2年 8月	9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
農・林・ 漁・鉱業	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1
建設業	1	2	2	3	4	3	3	2	5	3	2	4
製造業	4	6	2	4	5	3	1	10	0	4	4	2
卸売・小売業	3	0	3	5	2	4	2	4	6	1	1	1
金融、保険 不動産業	0	0	0	0	0	1	4	1	1	0	1	2
運輸業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
情報通信業	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
飲食、宿泊 サービス業他	6	4	3	3	7	3	3	1	4	6	3	3
県全体	14	13	11	16	19	15	13	18	18	15	13	13
うちコロナ 関連倒産	1	4	4	3	4	4	5	5	3	4	4	4

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

6 月 = 35,897百万円

*前年同月比： 1.8%減

(県内3百貨店、151スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は35,897百万円で、前年同月比1.8%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比2.4%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、スーパー(同2.6%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品(同0.8%増)が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品(同13.2%減)、身の回り品(同4.9%減)が4か月ぶり、家庭用品(同16.2%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%減と、4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	35,768	44,703	37,063	33,018	35,990	34,190	35,975	35,897
前年同月比(%)	▲0.3	▲1.1	▲1.0	▲3.6	▲0.4	8.1	3.6	▲1.8
うち百貨店(%)	▲11.9	▲6.9	▲19.9	▲8.1	15.4	125.2	74.5	2.4
スーパー(%)	2.6	0.5	3.7	▲2.7	▲3.0	▲0.5	▲2.6	▲2.6
(参考1)全国前年同月比(%)	▲3.4	▲3.5	▲7.2	▲4.7	3.0	15.5	5.7	▲2.2
うち百貨店(%)	▲13.6	▲13.0	▲28.8	▲10.2	21.8	158.3	61.9	▲1.6
スーパー(%)	1.8	1.6	3.1	▲2.6	▲2.7	▲0.9	▲1.9	▲2.5
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.5	▲1.2	1.4	▲1.0	1.5	8.7	4.3	▲0.5

(注1)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2)令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	▲19.0	▲14.2	▲29.2	▲14.2	7.2	109.5	28.7	▲13.2
うち紳士服・洋品	▲30.9	▲22.9	▲36.7	▲25.2	▲3.6	78.4	▲0.7	▲25.3
婦人・子供服・洋品	▲14.8	▲11.6	▲27.5	▲10.9	12.2	130.1	42.4	▲8.2
身の回り品	0.9	▲2.6	▲18.6	▲7.1	19.8	108.0	58.8	▲4.9
飲食料品	2.8	1.4	4.5	▲1.7	▲2.5	▲1.5	▲0.8	0.8
家庭用品	▲9.2	▲8.6	▲7.7	▲12.3	▲6.5	5.9	▲1.7	▲16.2
うち家庭用電気機械器具	11.4	13.4	7.7	▲0.7	0.2	6.3	▲3.6	▲20.9

(注)店舗数調整済、全月速報値

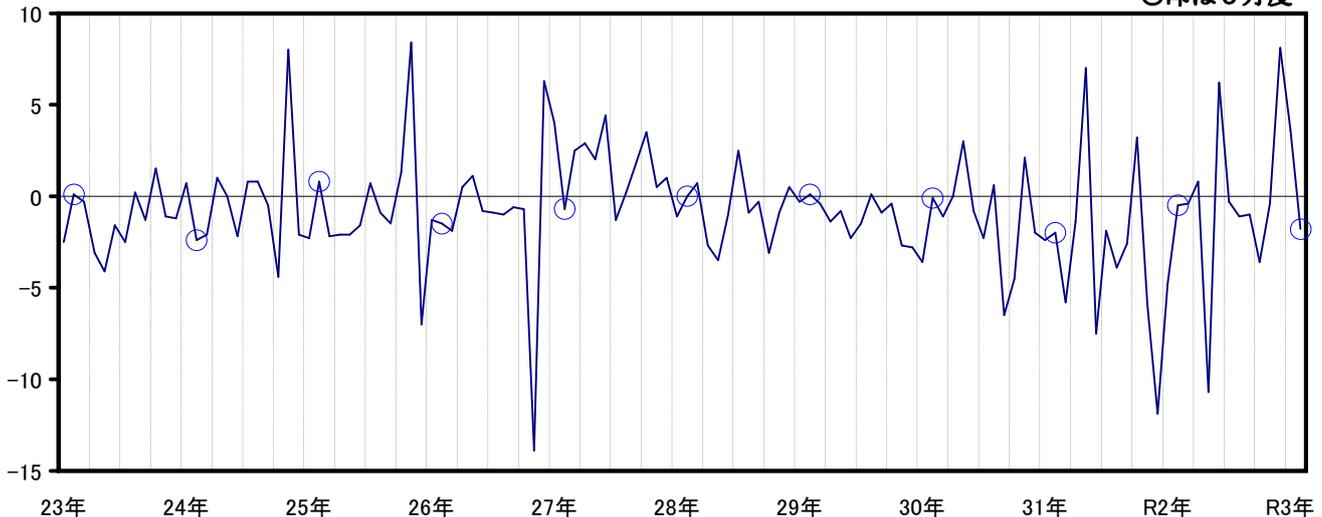
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は6月度



(2) 専門量販店等販売額

6月 = 71,230百万円

*前年同月比： 3.3%減

(県内91家電大型専門店、1,685コンビニエンスストア、535ドラッグストア、106ホームセンター合計)

<概況>

6月の専門量販店等販売額は71,230百万円で、前年同月比 3.3%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 0.3%増）が4か月連続、ドラッグストア（同 4.4%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同 22.7%減）が9か月ぶり、ホームセンター（同 10.8%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額（百万円）	72,618	81,579	70,393	64,036	74,321	70,408	73,497	71,230
前年同月比（%）	9.2	4.8	4.0	▲ 4.5	3.7	1.7	1.3	▲ 3.3
うち 家電大型専門店（%）	23.8	17.8	18.6	8.4	10.5	9.7	3.4	▲ 22.7
コンビニエンスストア（%）	5.1	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 7.6	5.4	5.5	4.0	0.3
ドラッグストア（%）	9.8	7.7	5.8	▲ 6.4	1.2	▲ 2.7	2.6	4.4
ホームセンター（%）	9.7	9.9	14.8	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 3.7	▲ 10.4	▲ 10.8
(参考)全国前年同月比（%）	5.4	3.4	2.1	▲ 4.2	2.7	4.8	2.0	▲ 4.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

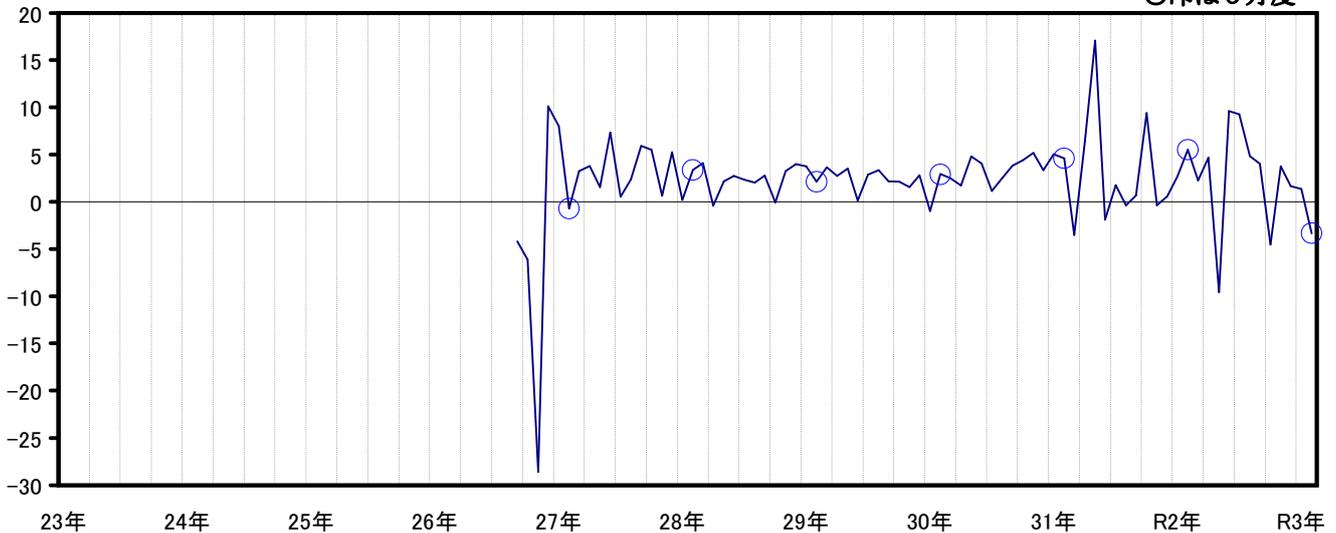
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は6月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**6月 = 12,350 台**

*前年同月比： 5.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は12,350台(前年同月比 5.0%増)と、9か月連続で前年実績を上回った。
 車種別にみると、乗用車(前年同月比 4.4%増)が4か月連続、軽自動車(同 5.6%増)が9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	14,336	13,824	14,779	16,244	21,764	12,497	10,774	12,350
前年同月比(%)	11.0	16.3	7.2	1.9	6.9	33.8	45.8	5.0
(参考)全国前年同月比(%)	6.7	10.9	7.8	0.0	5.2	31.5	50.0	4.5

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

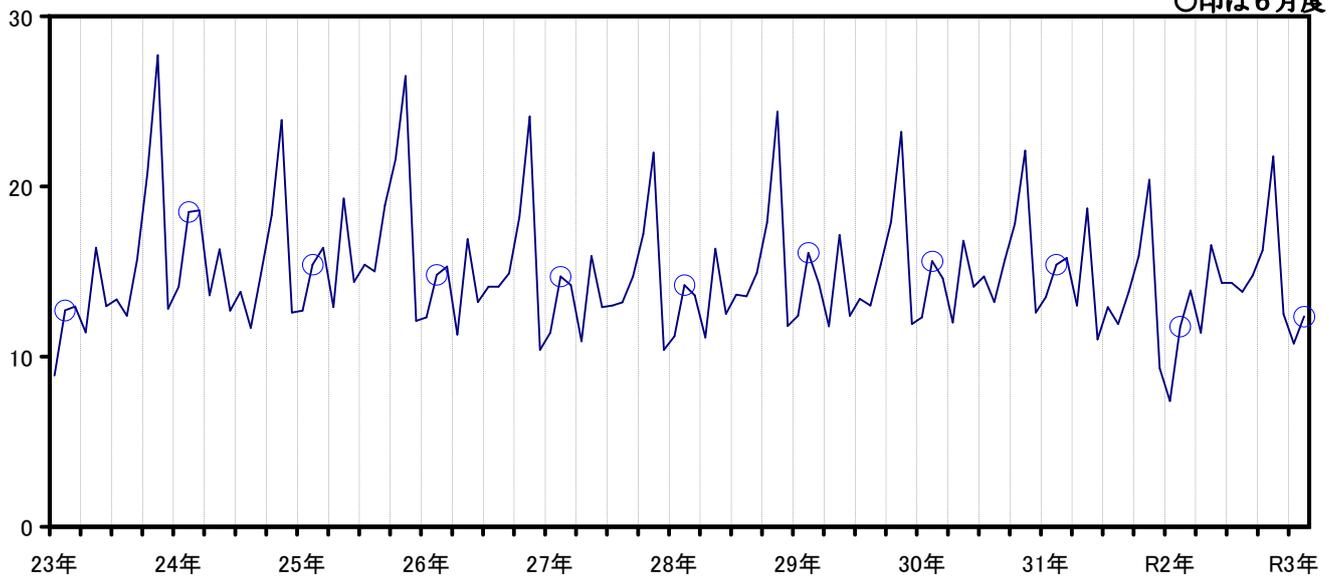
(単位：%)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	11.0	16.3	7.2	1.9	6.9	33.8	45.8	5.0
乗用車	10.4	18.1	11.2	▲0.1	1.7	31.5	27.7	4.4
軽自動車	11.7	14.1	3.0	4.0	12.9	36.4	69.1	5.6

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は6月度

(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

6月 = 1,831戸

*前年同月比： 2.3%増

<概況>

6月の新設住宅着工戸数は1,831戸で、前年同月比 2.3%増と、5か月連続で前年実績を上回った。
 利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 15.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 7.0%増）が3か月連続、貸家（同 4.9%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数 (戸)	1,763	1,780	1,665	1,625	1,648	1,931	1,775	1,831
前年同月比 (%)	14.6	▲ 5.4	▲ 7.1	16.8	1.5	8.9	15.2	2.3
うち持家 (%)	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 3.4	12.6	▲ 8.2	6.7	24.9	7.0
貸家 (%)	23.7	▲ 16.0	▲ 18.5	17.3	28.3	21.0	3.4	4.9
分譲住宅 (%)	▲ 21.0	4.3	15.0	29.7	▲ 3.7	▲ 3.6	18.3	▲ 15.4
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 3.7	▲ 9.0	▲ 3.1	▲ 3.7	1.5	7.1	9.9	7.3

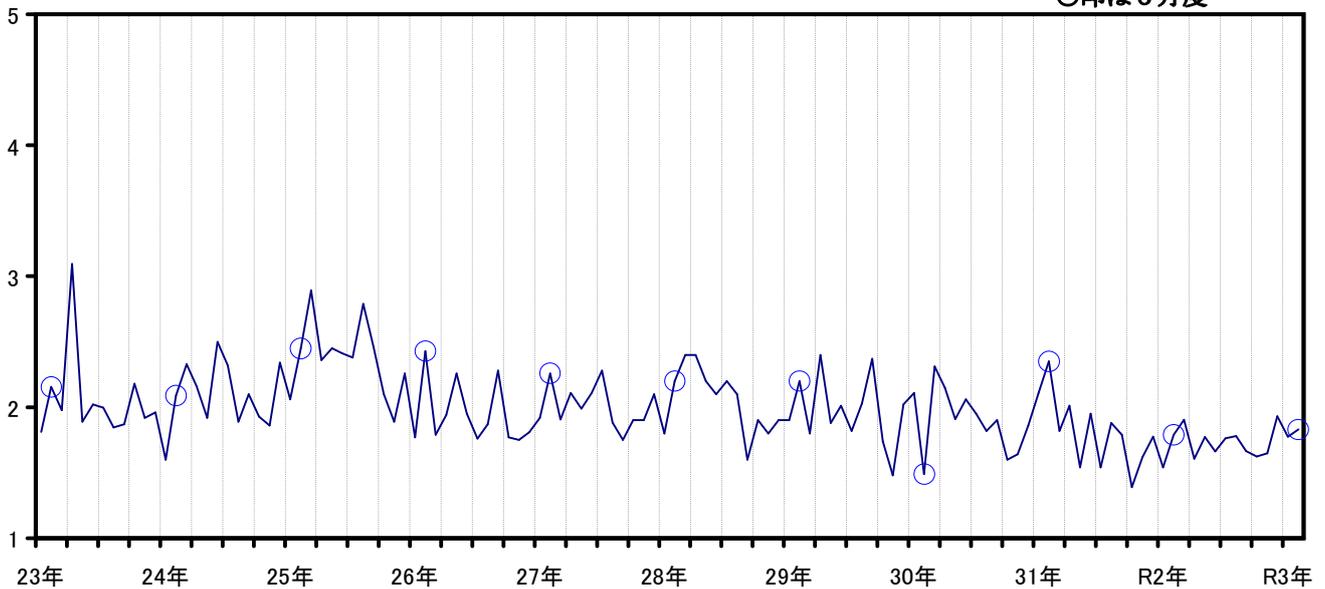
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は6月度



3 公共工事請負金額

6月 = 41,156百万円

*前年同月比：33.3%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

6月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は41,156百万円で、前年同月比33.3%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は775件で、前年同月比6.6%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額(百万円)	17,953	15,521	9,524	7,517	21,866	56,596	41,641	41,156
前年同月比(%)	5.2	1.1	▲33.9	▲45.9	3.3	▲17.5	▲19.9	▲33.3
年度累計前年同月比(%)	3.3	3.2	1.8	0.0	0.2	▲17.5	▲18.5	▲23.5
件数(件)	664	511	253	158	460	687	596	775
前年同月比(%)	▲1.6	▲6.2	▲34.3	▲46.8	21.7	3.5	20.6	6.6
年度累計前年同月比(%)	2.0	1.3	▲0.7	▲2.5	▲1.3	3.5	10.8	9.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

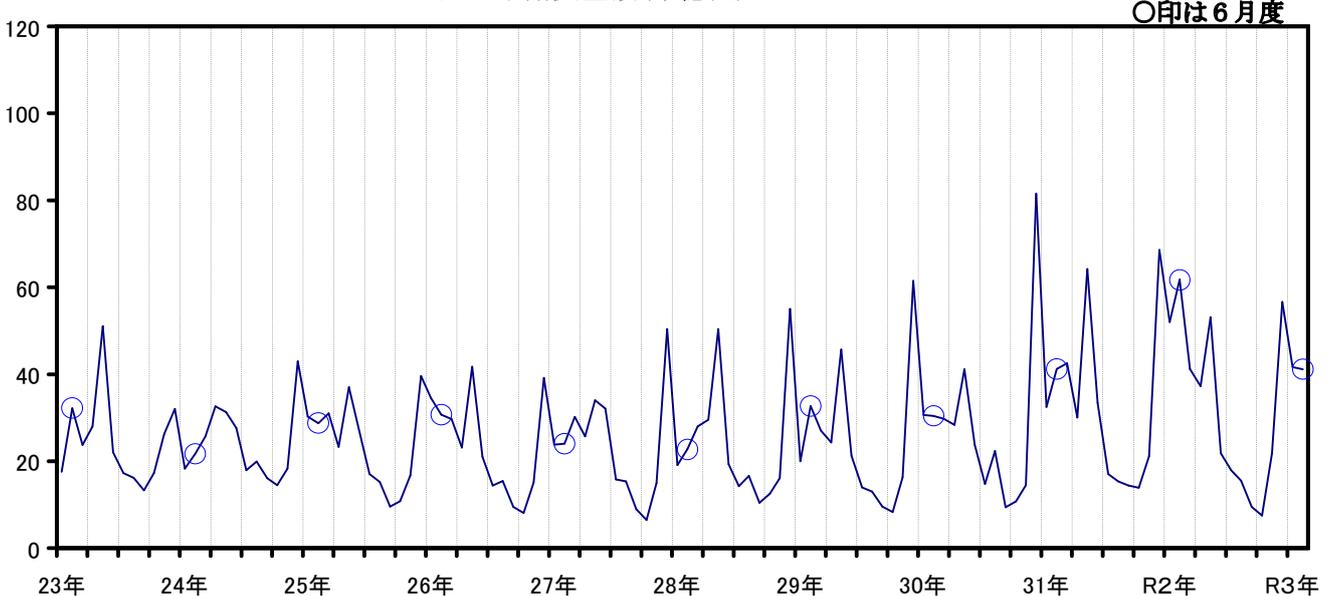
	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	95.4	200.2	▲32.9	▲37.7	▲21.2	56.5	37.3	▲9.3
独立行政法人等	▲12.0	▲60.2	▲91.2	-	23.7	▲51.9	▲47.4	▲72.3
県	▲1.9	27.6	▲30.2	▲39.1	40.7	▲17.5	7.7	11.6
市町	▲3.3	▲5.3	▲36.0	▲48.7	▲5.6	▲20.4	▲10.6	▲21.4
地方公社	439.4	-	-	-	-	1,120.8	-	-
その他	▲85.9	▲68.0	35.8	▲27.4	1,387.2	22.8	▲64.2	▲30.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和2年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少した。

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 24.9%増）、非製造業（同 2.8%増）、全産業（同 13.1%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 14.2%増）、非製造業（同 6.7%増）、全産業（同 12.0%増）においていずれも増加する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は114,873㎡で、前年同月比 10.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
全産業	県	(▲4.3) ▲10.8	(0.4) 13.1
	全国	(▲3.2) ▲8.5	(3.2) 7.1
製造業	県	(▲10.8) ▲17.2	(1.7) 24.9
	全国	(▲4.6) ▲10.0	(3.4) 11.5
非製造業	県	(2.1) ▲4.3	(▲0.9) 2.8
	全国	(▲2.4) ▲7.5	(3.1) 4.5

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
全産業	県	(▲3.8) ▲7.6	(0.8) 12.0
	全国	(▲3.6) ▲8.5	(3.0) 9.3
製造業	県	(▲5.9) ▲8.3	(1.5) 14.2
	全国	(▲3.2) ▲7.7	(3.5) 10.4
非製造業	県	(1.6) ▲5.8	(▲1.1) 6.7
	全国	(▲4.1) ▲9.4	(2.4) 8.0

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和3年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和3年6月調査）」

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	60,377	57,195	70,088	69,047	117,345	93,072	66,308	114,873
前年同月比（%）	▲49.0	▲56.4	6.7	1.4	32.3	5.2	▲42.1	▲10.1
（参考）全国前年同月比（%）	▲10.1	▲14.8	13.2	▲7.2	14.9	3.0	4.9	12.6

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R3年3月	R3年6月	R3年9月 (予測)
全産業	全産業	▲8	▲5	▲3
	製造業	▲4	▲2	▲1
	非製造業	▲13	▲9	▲4
（参考）全国・全産業		▲8	▲3	▲5

（注4）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和3年6月調査）」

5 輸出

6月 = 217,034百万円

*前年同月比： 73.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は217,034百万円で、前年同月比 73.4%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 41.6%減）が5か月ぶり、科学光学機器（同 3.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 140.4%増）が5か月連続、エアコン（同 90.9%増）、自動車の部分品（同 103.2%増）、二輪自動車類（同 211.1%増）がいずれも4か月連続で前年実績を上回った。
 地域別にみると、アジア向け（前年同月比 70.2%増）が10か月連続、米国向け（同 105.2%増）が3か月連続、EU向け（同 49.8%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額(百万円)	189,052	209,438	168,601	194,233	221,606	202,397	198,629	217,034
前年同月比(%)	7.2	12.0	8.9	9.2	22.5	37.2	93.3	73.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原動機	6.9	28.7	▲ 15.9	11.8	23.4	75.0	181.6	140.4
エアコン	32.8	31.3	33.4	▲ 1.9	18.9	21.9	211.2	90.9
自動車	6.1	27.0	▲ 7.2	20.8	44.5	250.5	407.7	▲ 41.6
自動車の部分品	▲ 3.1	7.8	▲ 4.3	▲ 2.9	3.3	13.1	85.9	103.2
二輪自動車類	▲ 39.7	▲ 30.3	▲ 19.2	▲ 11.2	34.2	71.7	322.1	211.1
科学光学機器	39.9	30.1	18.6	▲ 4.1	▲ 4.7	9.2	▲ 6.4	▲ 3.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	18.0	20.8	27.8	21.2	32.5	33.7	49.6	70.2
米国	▲ 3.8	7.6	▲ 4.1	▲ 8.7	▲ 5.9	16.3	115.3	105.2
EU	▲ 0.3	14.4	▲ 3.5	12.6	43.3	76.0	207.4	49.8

<資料>清水税関支署

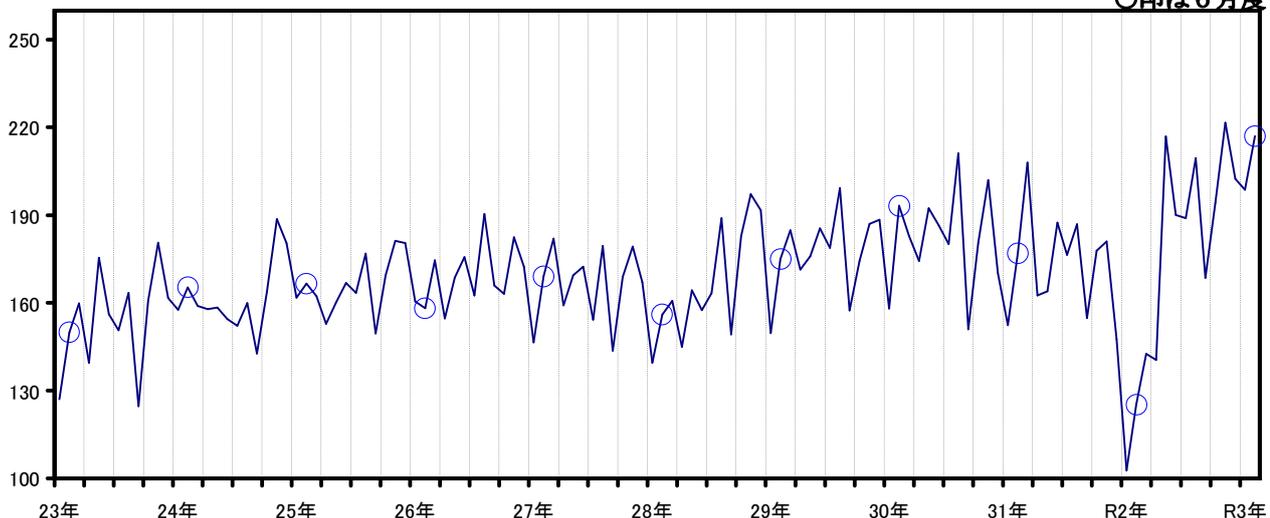
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は6月度



6 輸入

6 月 = 99,667百万円

*前年同月比： 33.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は99,667百万円で、前年同月比 33.4%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 21.9%減）が6か月ぶり、紙類及び同製品（同 14.5%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、木材（同 8.1%増）が4か月連続、パルプ（同 19.0%増）が3か月連続、原動機（同 44.8%増）が5か月連続、自動車の部分品（同 136.0%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、EU向け（前年同月比 12.1%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 41.2%増）が5か月連続、米国向け（同 1.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	85,659	82,321	80,566	80,035	106,941	101,089	93,703	99,667
前年同月比(%)	▲ 6.1	2.0	▲ 11.3	20.1	19.8	15.3	23.5	33.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚介類及び同調製品	15.1	▲ 3.4	12.5	0.4	25.0	9.9	17.0	▲ 21.9
木材	▲ 24.0	▲ 9.6	▲ 42.8	▲ 14.7	14.0	6.7	5.8	8.1
パルプ	▲ 26.4	11.0	▲ 0.3	▲ 6.5	▲ 20.1	24.0	43.2	19.0
紙類及び同製品	4.6	▲ 19.6	▲ 44.9	▲ 38.4	▲ 22.5	▲ 16.0	▲ 10.3	▲ 14.5
原動機	14.5	67.3	▲ 5.1	61.1	22.9	10.0	52.6	44.8
自動車の部分品	▲ 5.0	▲ 3.9	44.0	16.5	34.6	13.5	67.0	136.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

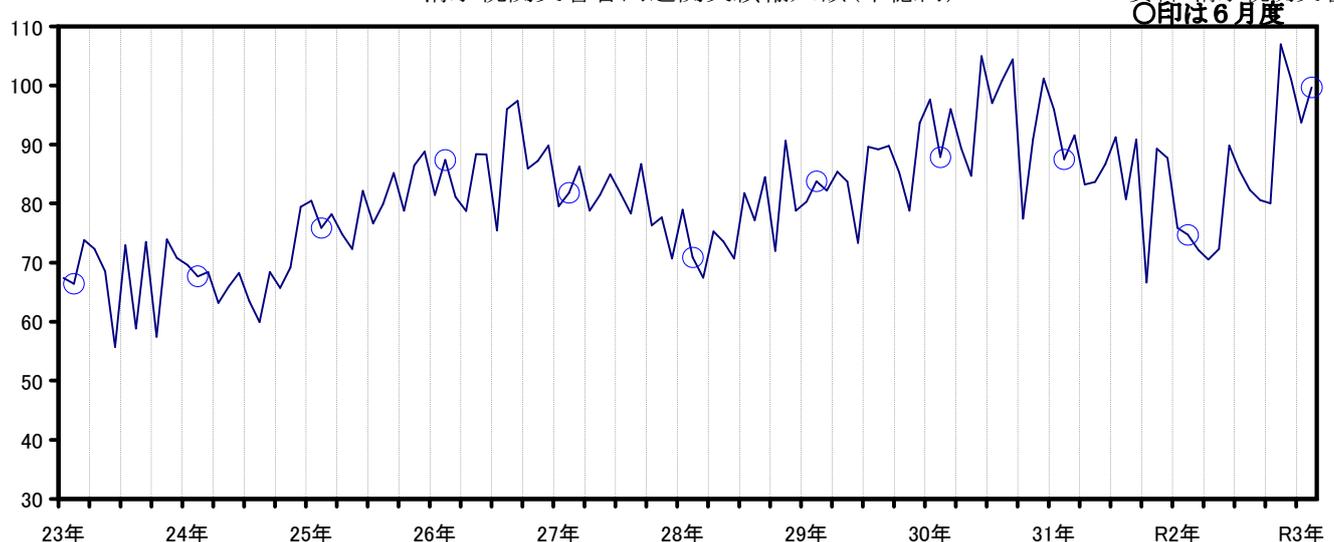
	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	▲ 6.5	▲ 1.1	▲ 9.5	35.8	28.2	21.0	35.7	41.2
米国	▲ 4.1	10.9	▲ 16.0	62.3	▲ 6.9	17.2	▲ 38.9	1.3
EU	▲ 5.2	14.5	4.9	▲ 16.7	19.2	▲ 11.8	21.9	▲ 12.1

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

6月 = 88.6

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.9%増

*前年同月比(原指数) : 8.0%増

<概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は88.6(季節調整済指数)で、前月比は3.9%増と、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は8.0%増と、4か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比 3.9%減)が4か月ぶり、食料品・たばこ(同 0.3%減)が3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 17.3%増)が3か月連続、電気機械(同 21.3%増)が10か月連続、化学(同 4.4%増)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 3.2%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	92.7	93.6	94.8	90.8	96.2	99.2	85.3	88.6
前月比(%)	▲1.7	1.0	1.3	▲4.2	5.9	3.1	▲14.0	3.9
前年同月比(%)	▲9.3	▲2.6	▲8.3	▲3.9	4.3	31.5	21.2	8.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.1	▲2.9	▲5.3	▲2.0	3.4	15.8	21.1	23.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲22.9	▲17.9	▲12.7	5.7	▲0.3	24.4	11.8	17.3
電気機械工業	0.9	5.5	9.6	7.1	12.6	35.9	25.7	21.3
輸送機械工業	▲7.9	1.2	▲7.1	▲6.5	6.3	101.8	64.6	▲3.9
化学工業	▲15.7	▲7.0	▲19.3	▲8.5	1.8	10.4	▲4.4	4.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.9	▲1.9	▲4.1	▲3.6	0.5	▲0.3	1.7	3.2
食料品・たばこ工業	▲9.5	▲2.2	▲13.9	▲15.0	▲1.7	1.9	4.6	▲0.3

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

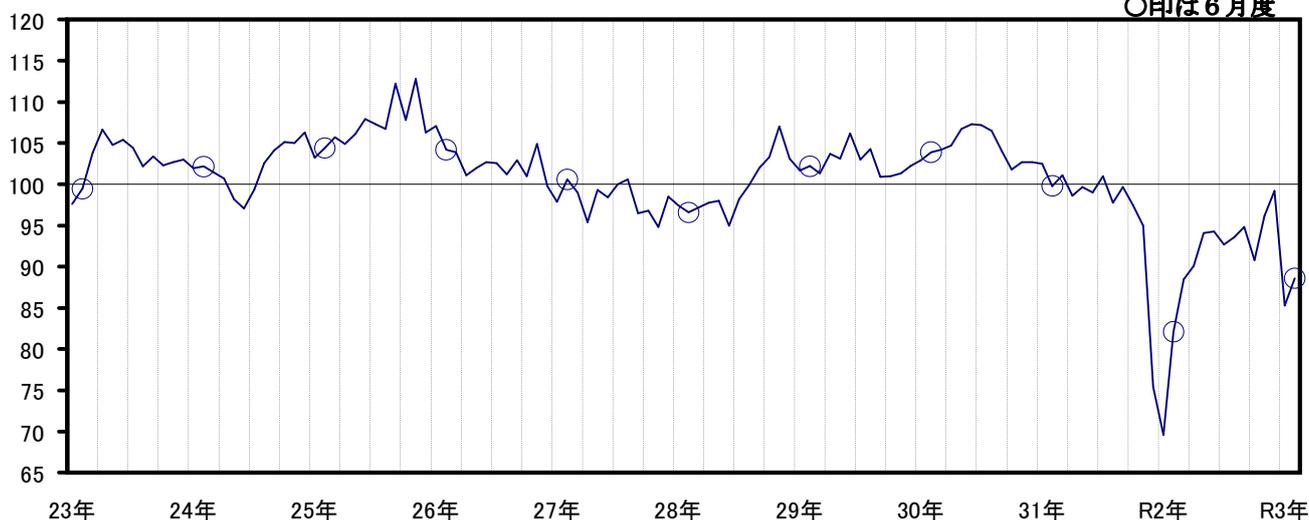
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は6月度



(2) 鋳工業在庫指数

6月 = 101.5

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 1.2%減

* 前年同月比(原指数) : 3.7%減

<概況>

6月の鋳工業在庫指数(総合)は101.5(季節調整済指数)で、前月比は1.2%減と、2か月連続で下降した。また、前年同月比(原指数)は3.7%減と、11か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、食料品・たばこ(前年同月比 0.2%増)が13か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 10.1%減)が7か月連続、電気機械(同 1.3%減)が2か月連続、輸送機械(同 3.1%減)、パルプ・紙・紙加工品(同 5.2%減)がいずれも4か月ぶり、化学(同 9.3%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	104.0	104.3	105.2	104.0	101.9	105.6	102.7	101.5
前月比(%)	2.1	0.3	0.9	▲ 1.1	▲ 2.0	3.6	▲ 2.7	▲ 1.2
前年同月比(%)	▲ 3.6	▲ 4.7	▲ 7.7	▲ 4.2	▲ 4.1	▲ 2.9	▲ 5.8	▲ 3.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 10.2	▲ 9.5	▲ 9.8	▲ 9.8	▲ 8.7	▲ 5.0

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.3	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 12.3	▲ 16.6	▲ 14.9	▲ 0.1	▲ 10.1
電気機械工業	▲ 2.4	▲ 3.4	▲ 3.2	8.3	17.8	5.5	▲ 3.3	▲ 1.3
輸送機械工業	24.7	27.3	22.0	0.0	6.6	87.9	11.9	▲ 3.1
化学工業	▲ 9.1	▲ 18.6	▲ 22.9	1.1	▲ 3.1	▲ 9.9	▲ 16.7	▲ 9.3
パルプ・紙・紙加工品工業	8.8	3.4	▲ 5.2	▲ 1.0	8.0	7.4	0.3	▲ 5.2
食料品・たばこ工業	▲ 13.8	▲ 6.8	▲ 7.3	▲ 11.2	▲ 15.7	▲ 16.3	▲ 7.2	0.2

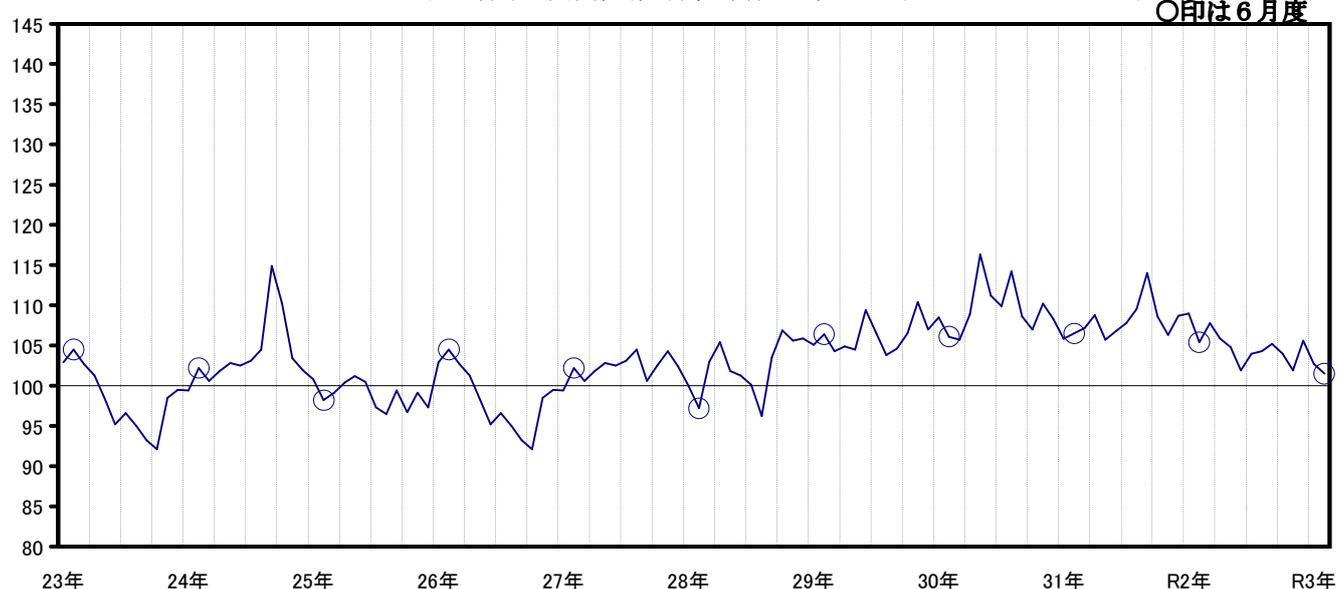
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

6 月 = 1.14倍

*前月比(季節調整値) : 0.06ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

6月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.14倍となり、前月を0.06ポイント上回った。5か月連続で1倍台となった。また、22か月ぶりに全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比16.7%増)は3か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比1.0%減)が2か月ぶり、運輸業・郵便業(同3.8%減)が18か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同7.5%増)が9か月連続、製造業(同49.8%増)が5か月連続、卸売業・小売業(同22.6%増)が2か月ぶり、医療・福祉(同9.1%増)が4か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同43.4%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	0.93	0.92	0.98	1.00	1.01	1.01	1.08	1.14
全 国	1.05	1.05	1.10	1.09	1.10	1.09	1.09	1.13

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	0.4	4.9	22.6	17.2	14.9	13.6	0.9	7.5
製造業	▲22.6	▲21.6	▲13.0	0.4	7.8	18.4	55.2	49.8
情報通信業	▲38.7	▲17.7	▲7.2	▲1.7	44.2	▲18.1	10.2	▲1.0
運輸業・郵便業	▲12.7	▲33.1	▲18.3	▲16.4	▲6.9	▲12.1	▲6.2	▲3.8
卸売業・小売業	▲30.3	▲15.4	▲2.6	▲13.0	▲9.2	11.1	▲6.9	22.6
医療・福祉	▲20.1	▲14.3	▲0.2	▲11.7	4.9	3.9	6.4	9.1
サービス業(他に分類されないもの)	▲18.6	▲29.0	▲10.2	12.3	14.1	31.1	35.1	43.4
合 計	▲20.6	▲19.2	▲4.7	▲4.9	▲0.7	12.1	13.0	16.7

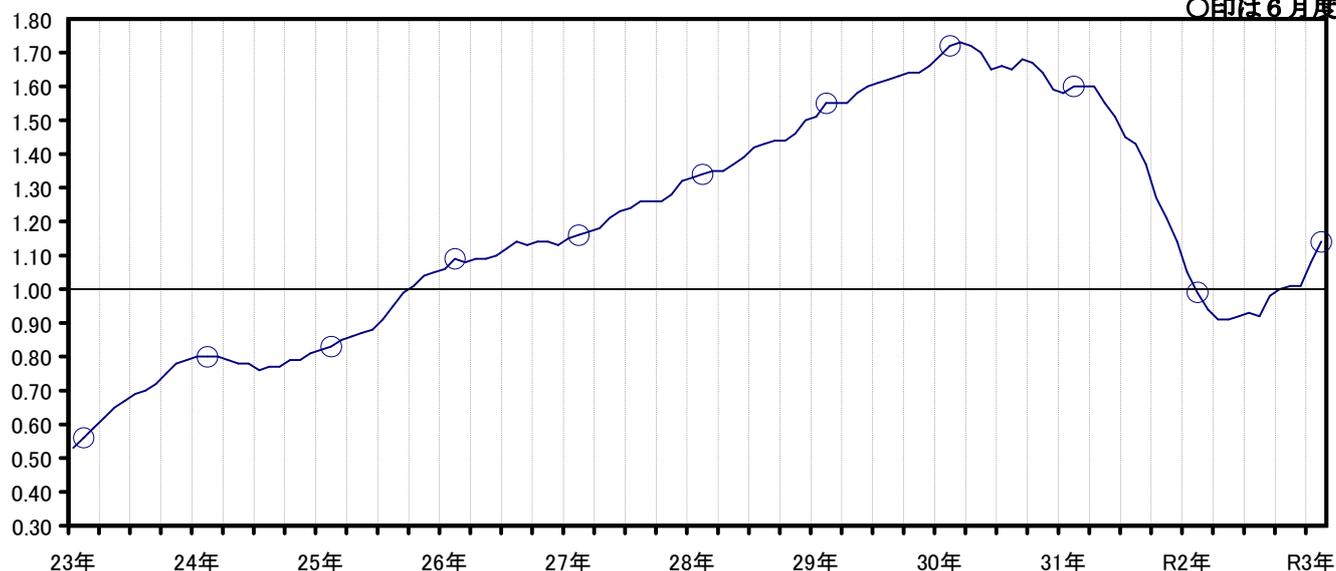
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 12,876人

*前月比: 6.6%増

*前年同月比: 9.2%減

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は12,876人で、前月比は6.6%増と、3か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は9.2%減と22か月ぶりに前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.9%と前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(令和3年1~3月)の完全失業率は2.5%で、前期(令和2年10~12月)と同水準であった。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	14,632	13,707	13,345	12,505	12,526	12,153	12,079	12,876
前月比(%)	▲8.2	▲6.3	▲2.6	▲6.3	0.2	▲3.0	▲0.6	6.6
前年同月比(%)	34.3	28.4	24.5	23.3	22.9	23.0	3.7	▲9.2
(参考)全国前年同月比(%)	27.4	21.7	16.9	22.0	23.1	23.6	8.4	▲1.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	3.0	3.0	2.9	2.9	2.6	2.8	3.0	2.9

(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省
○印は6月度



(3) 所定外労働時間指数

5月 = 77.7

*前月比(季節調整済指数): 5.4%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 35.5%増

<概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は77.7(季節調整済指数)で、3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は35.5%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比 19.8%減)が18か月連続、医療・福祉(同 9.2%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同 39.4%増)が5か月ぶり、製造業(同 73.6%増)が2か月連続、運輸業・郵便業(同 18.7%増)が2か月連続、卸売業・小売業(同 1.6%増)が14か月ぶり、その他のサービス業(前年同月比 87.0%増)が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
指数	71.7	74.9	74.9	77.3	71.1	80.1	82.1	77.7
前月比(%)	▲1.5	4.5	0.0	3.2	▲8.0	12.7	2.5	▲5.4
前年同月比(%)	▲15.2	▲10.3	▲11.2	▲10.6	▲16.0	▲8.0	13.4	35.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲10.3	▲9.5	▲6.5	▲6.8	▲8.3	0.9	15.2	28.9

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	▲22.2	2.7	9.9	▲42.0	▲60.7	▲29.3	▲19.5	39.4
製造業	▲15.9	▲8.1	▲13.8	▲11.3	▲10.5	▲7.7	22.7	73.6
情報通信業	▲18.0	▲17.1	▲17.5	▲23.7	▲32.3	▲32.6	▲15.5	▲19.8
運輸業・郵便業	▲27.3	▲27.9	▲30.0	23.6	▲4.3	▲5.7	10.7	18.7
卸売業・小売業	▲29.2	▲22.7	▲23.5	▲25.1	▲20.6	▲20.8	▲20.7	1.6
医療・福祉	22.8	24.1	16.9	▲5.8	▲18.6	▲19.4	0.0	▲9.2
その他のサービス業	▲11.0	▲9.6	13.0	28.8	41.3	76.8	108.9	87.0
調査産業計	▲15.2	▲10.3	▲11.2	▲10.6	▲16.0	▲8.0	13.4	35.5

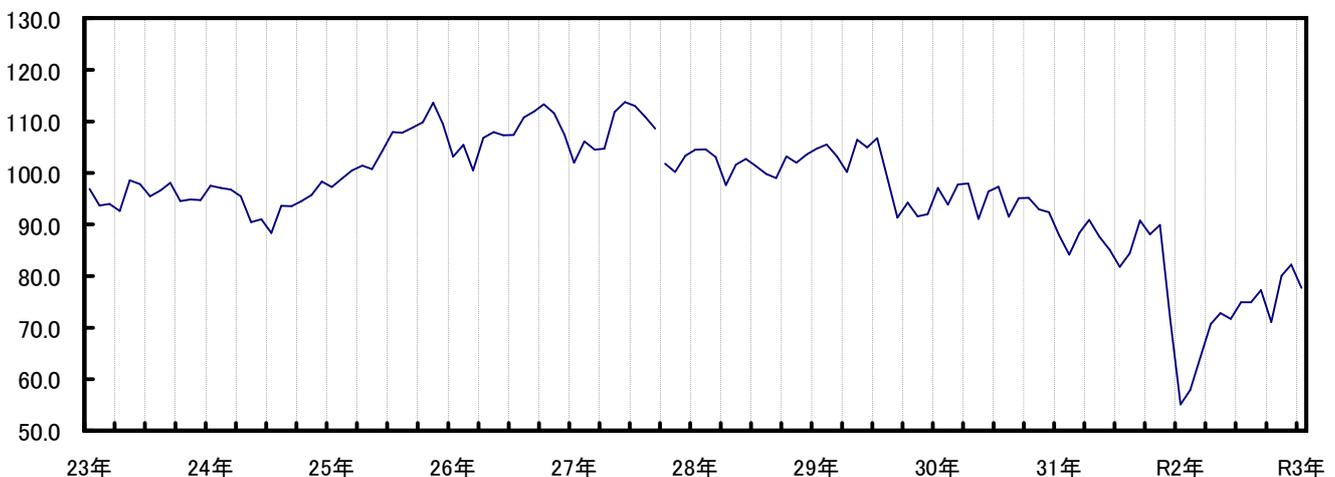
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

7 月 = 105.7

*前 月 比: 1.1%上昇

(平成27年=100)

*前年同月比: 5.6%上昇

<概 況>

7月の国内企業物価指数は105.7となり、前月比は1.1%の上昇となった。また、前年同月比は5.6%の上昇となった。

<最近の動き>

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	100.3	100.8	101.3	102.3	103.3	104.0	104.6	105.7
前 月 比 (%)	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.7	0.6	1.1
前年同月比 (%)	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 0.6	1.2	3.9	5.1	5.0	5.6

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 143,740億円

*前 月 比: 0.2%減

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 0.4%減

<概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,740億円で、前月比は0.2%の減少となった。また、前年同月比は0.4%の減少となった。

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	145,170	145,997	145,349	145,359	144,888	144,230	143,987	143,740
前 月 比 (%)	▲ 0.1	0.6	▲ 0.4	0.0	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.2
前年同月比 (%)	7.3	7.2	6.5	6.3	5.6	4.2	0.9	▲ 0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

6 月 = 1.409%

*前 月 差: 0.007ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.056ポイント減

<概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.409%で、前月から0.007ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.056ポイントのマイナスとなった。

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利 (%)	1.446	1.435	1.434	1.430	1.425	1.420	1.416	1.409
前月差(ポイント)	▲ 0.002	▲ 0.011	▲ 0.001	▲ 0.004	▲ 0.005	▲ 0.005	▲ 0.004	▲ 0.007
前年同月差(ポイント)	▲ 0.104	▲ 0.096	▲ 0.094	▲ 0.092	▲ 0.075	▲ 0.065	▲ 0.066	▲ 0.056

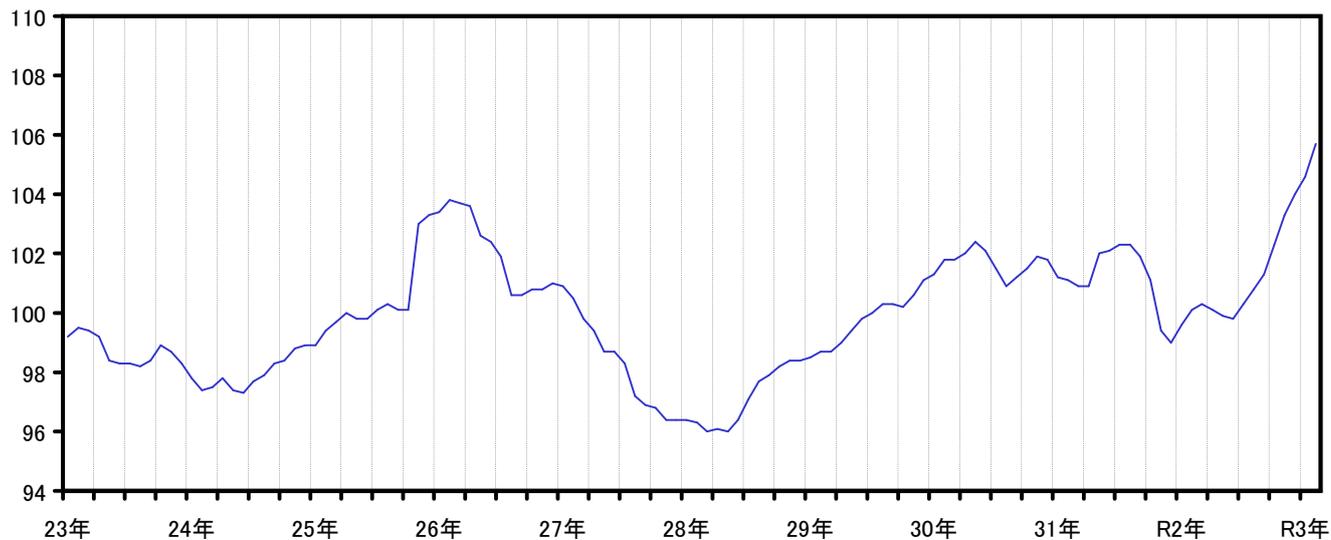
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

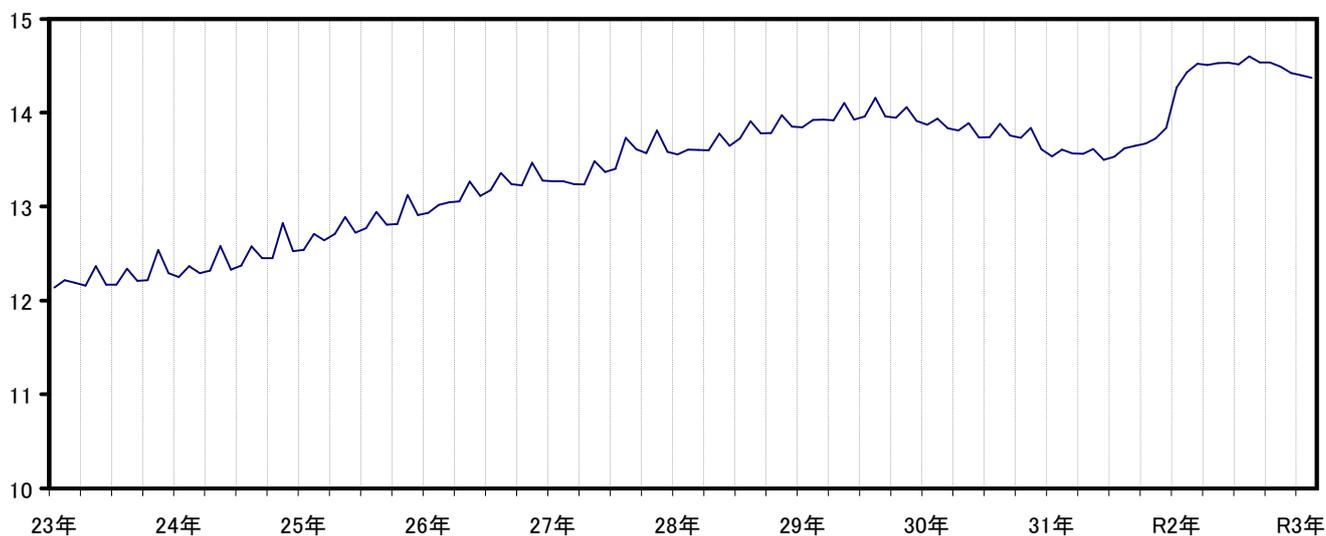
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



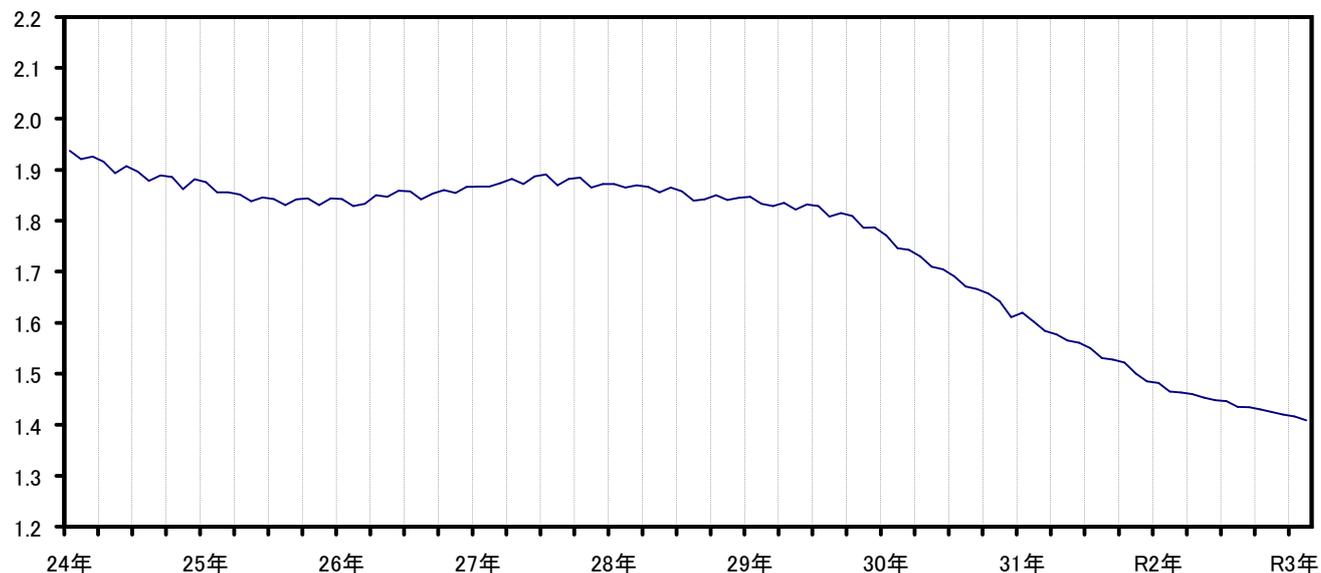
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**6月 = 14,632百万円**

*前年同月比： 8.4%増

<概況>

6月の保証承諾は、金額は14,632百万円（前年同月比 8.4%増）、件数は1,527件（同 12.6%増）と、いずれも16か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額（百万円）	42,712	56,544	29,352	74,214	119,708	35,272	12,187	14,632
前年同月比（%）	209.3	280.9	210.0	500.4	415.4	26.7	7.1	8.4
保証件数（件）	3,615	5,220	2,769	5,337	7,953	2,794	1,197	1,527
前年同月比（%）	179.8	257.4	195.6	344.3	308.0	45.4	14.0	12.6

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**7月 = 110.29円/ドル**

*前月差： 0.18円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 3.51円安

<概況>

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は110.29円で、前月と比べて0.18円の円安となり、6か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場（円）	103.82	103.70	105.36	108.65	109.13	109.19	110.11	110.29
前月差（円）	▲ 0.58	▲ 0.12	1.66	3.29	0.48	0.06	0.92	0.18
前年同月差（円）	▲ 5.36	▲ 5.64	▲ 4.60	1.36	1.20	1.88	2.55	3.51

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****7月 = 13件**

*前年同月比： 18.7%減

<概況>

7月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は13件（前年同月比 18.7%減）、負債総額は1,263百万円（同 27.0%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が12件と全体の92.3%を占め、284か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

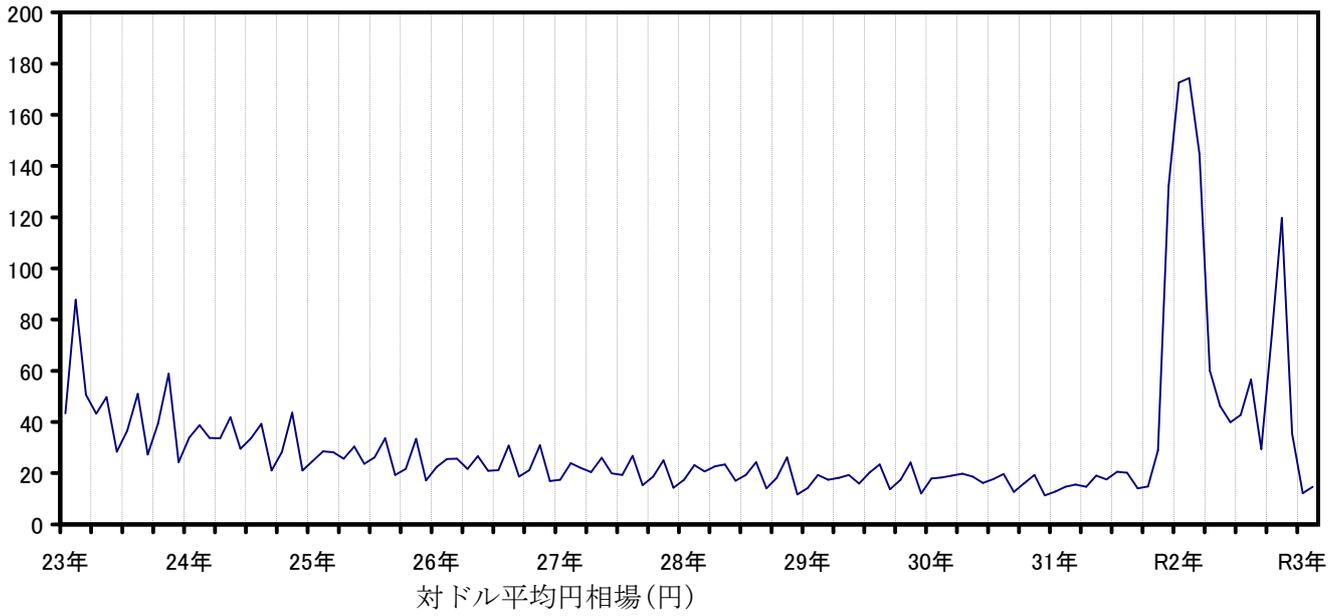
	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
倒産件数（件）	19	15	13	18	18	15	13	13
前年同月比（%）	58.3	▲ 16.6	18.1	0.0	▲ 25.0	36.3	▲ 59.3	▲ 18.7
うち不況型倒産件数(件)	16	13	13	15	16	12	11	12
負債総額（百万円）	1,942	14,979	3,149	2,844	3,029	2,492	1,544	1,263
前年同月比（%）	▲ 95.2	151.9	117.4	25.2	▲ 59.5	49.3	▲ 35.6	▲ 27.0

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

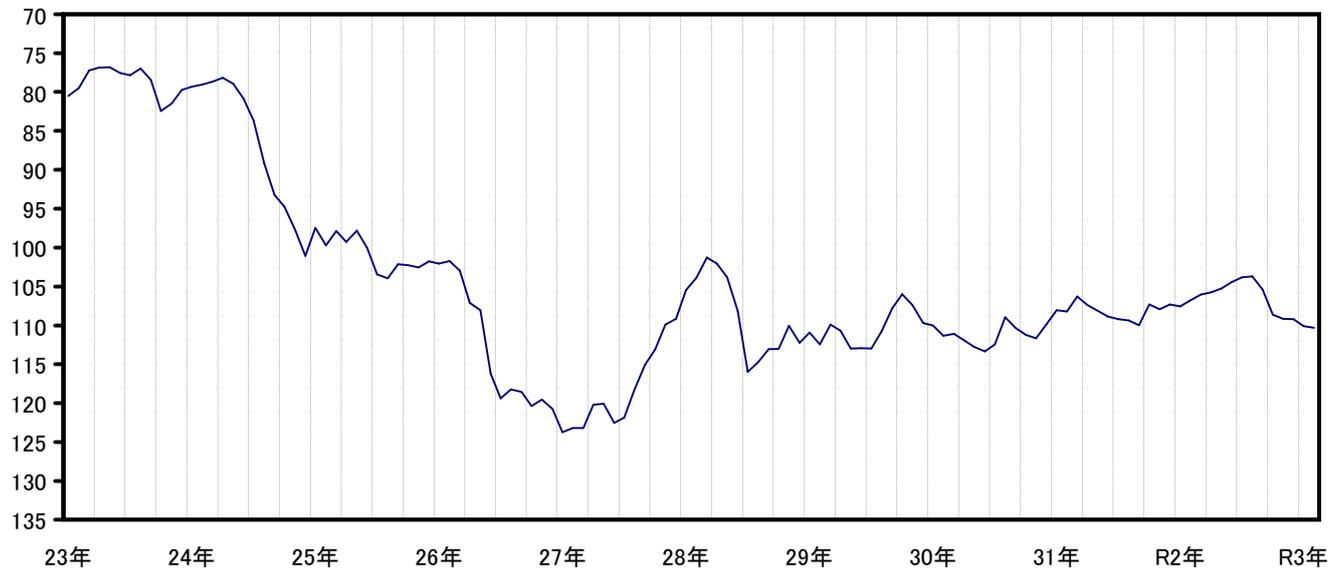
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

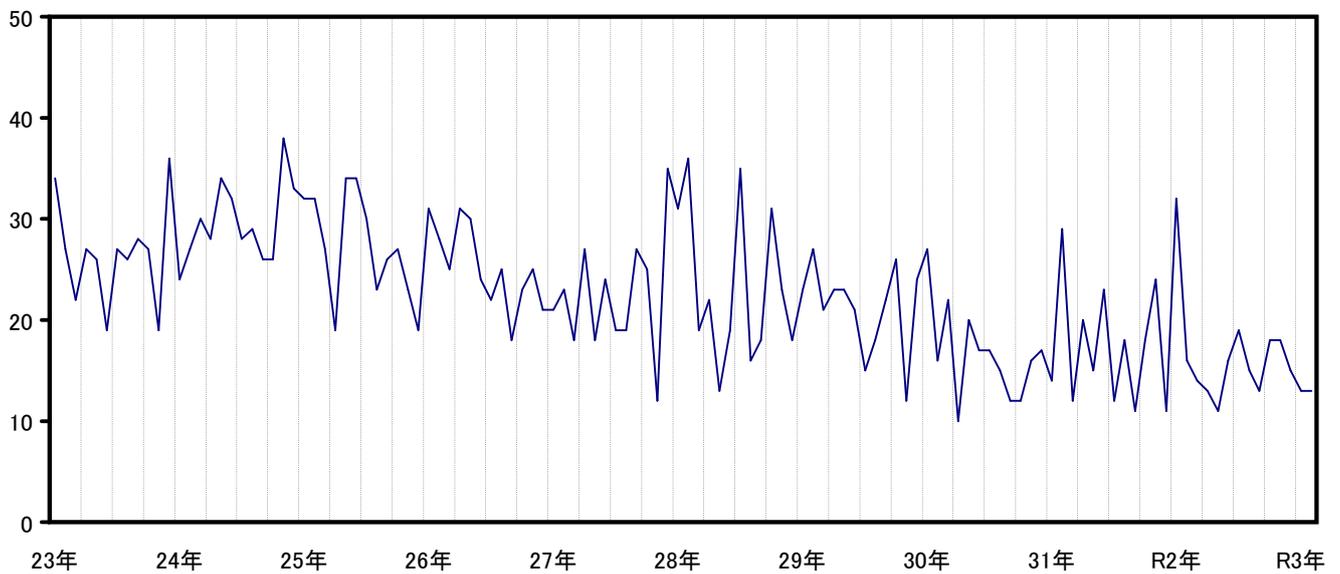


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和3年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>5月の国内二輪車生産台数は、41,997台（前年同月比 117.5%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、8,823台（同 9.2%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,770台（同 174.2%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,851台（同 354.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、25,553台（同 246.5%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、26,761台（同 35.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、34,989台（同 292.3%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>5月の自動車国内生産台数は、502,828台（前年同月比 63.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。輸出は267,079台（同 122.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月連続、トラックが4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は475億円（前年同月比 3.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は389千台（同 7.2%減）で、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,651千台（同 10.4%減）で、9か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は89千台（同 4.1%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>6月の携帯電話の国内出荷台数は、1,515千台（同 34.6%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,222千台（同 45.7%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 80.7%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>6月の工作機械の受注総額は、1,320億8,100万円（前年同月比 96.6%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は874億2,500万円（同 99.5%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが430億8,000万円（同 103.1%増）で、12か月連続で前年実績を上回った。内需は446億5,600万円（同 91.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「中国で建機、EVを含む自動車関連、風力などの新エネ向けに工作機械の需要が拡大しているという。その影響か、売上高増加の組合員も少し出てきているが、大半は横ばいか減少の状況」「コロナ禍前には及ばないが、売上高、利益とも昨年並みに回復している。」「半導体生産装置の製造業者が使用する半導体部品が手に入らず、納期遅延、コスト高が余儀なくされている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億3,724万円（前年同月比102.4%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが30億1,324万円（同142.7%増）で、国内向けが26億2,399万円（同70.0%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,604台（同60.1%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,469台（同57.2%増）、グランドピアノが1,135台（同66.9%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,751台（同135.5%増）、国内向けが1,092台（同78.1%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、1,813千トン（前年同月比11.0%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は870千トン（同12.1%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。板紙は943千トン（同9.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、455千トン（同18.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、150千トン（同10.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,117千箱（前年同月比2.4%減）と3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は786千箱（同7.9%減）と4か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は531千箱（同15.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は331千箱（同13.4%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,478千箱（同4.0%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、683千㎡（前年同月比6.7%減）で、25か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、604千㎡（同9.5%減）で、27か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、79千㎡（同21.8%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、16千㎡（同4.7%増）で、39か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、37億305万円（前年同月比6.4%増）と2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、732億6,598万円（同2.2%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>6月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,897百万円（既存店前年同月比 1.8%減）と前年同月の実績を下回った。飲食料品と食堂・喫茶を除く全ての品目で、売上げが前年同月よりも減少した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、衣料品の低調が大きく響き、売上げが前年同月と比較して減少した。特選品ブランドの撤退も全売上げの減少に影響を与えた。一方で、昨年同月と比較すると来客数は大きく増加している。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、コロナ禍による内食需要が続いており、売上げが前年同月と比較して僅かに増加した。特に、肉や野菜に和えるだけの簡単調味料や弁当・惣菜類が売上げを伸ばした。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、鮮魚・精肉の部門は伸びず、売上げが前年同月と比較して減少したが、食品メーカーとの共同企画によるメニュー開発や物産市の開催により、全売上げは前年並みをキープしている。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和3年6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約22万人で、前年同月比 7.3%減となった。</p> <p>前年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国の緊急事態宣言が解除された翌月であり、県西部の屋外施設において、例年以上の入込となった一方で、本年は東京都や愛知県等の近隣県に緊急事態宣言が出されていたことから対前年同月比が減であったと考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約50万台となり、前年同月比 18.1%増となった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R 2年10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	20,918	20,803	17,648	21,234	25,160	29,543	23,811	16,652	22,864
前年同月比(%)	▲ 19.1	▲ 21.3	▲ 27.3	▲ 18.8	▲ 3.2	43.2	28.9	245.4	86.3
KD輸出額(百万円)	1,307	1,147	1,590	1,399	1,689	1,396	1,376	785	1,066
前年同月比(%)	6.0	▲ 37.2	3.0	9.5	8.3	▲ 8.4	27.3	2,321.4	102.8

<楽 器>

	R 2年10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	2,888	2,814	2,848	2,159	2,716	3,003	3,133	2,621	3,331
前年同月比(%)	▲ 12.0	▲ 15.9	▲ 8.1	▲ 29.5	0.3	▲ 5.2	56.9	131.9	56.5

<缶詰>

	R 2年10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	1,069	1,001	960	828	912	1,013	1,063	966	1,117
前年同月比(%)	3.2	▲ 9.8	▲ 3.3	▲ 5.1	8.4	0.7	▲ 9.4	▲ 12.6	▲ 2.4
うち水産缶詰(%)	▲ 2.4	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 7.6	8.6	▲ 4.4	▲ 13.4	▲ 16.0	▲ 7.9
農畜産缶詰(%)	14.2	0.1	9.0	▲ 0.8	7.9	11.1	1.1	▲ 2.8	13.4
飲料缶生産高(千ケース)	6,253	5,983	6,107	4,662	5,164	7,768	8,200	7,865	7,478
前年同月比(%)	▲ 4.9	▲ 16.4	3.3	▲ 4.6	▲ 14.0	▲ 6.0	5.9	12.6	4.0

<織 維>

	R 2年10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	666	787	729	788	749	714	703	661	683
前年同月比(%)	▲ 51.4	▲ 48.6	▲ 47.2	▲ 39.5	▲ 38.4	▲ 38.6	▲ 31.6	▲ 12.5	▲ 6.7
小幅織物(千㎡)	17	17	20	20	18	18	18	15	16
前年同月比(%)	▲ 37.0	▲ 35.3	▲ 21.8	▲ 18.3	▲ 23.3	▲ 16.3	▲ 10.2	▲ 12.3	4.7

<観 光>

	R 2年10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,321	1,538	1,375	715	702	1,222	1,070	1,096	908
前年同月比(%)	▲ 22.3	▲ 20.5	▲ 24.9	▲ 58.5	▲ 54.9	0.2	132.0	184.1	35.3
観光施設(10施設)入込 (千人)	396	476	271	206	290	377	413	430	217
前年同月比(%)	26.2	24.7	2.7	▲ 34.1	▲ 3.4	9.3	215.5	1,906.7	▲ 7.3
有料道路(4路線)通行量 (千台)	573	615	560	428	470	555	526	559	496
前年同月比(%)	15.6	10.5	▲ 0.8	▲ 16.4	▲ 15.4	4.3	65.5	77.1	18.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和3年8月号 通巻544号

発行 静岡県経済産業部
令和3年8月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>